

令和2年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第1回学校運営協議会

□日 時：令和2年6月29日（月）18:30～20:00

□出席者：協議会委員6名、准校長、主査、生徒部長、教務部長、進路指導主事、記録担当者

□第一部：准校長あいさつ、学校運営協議会について、委員・事務局紹介

□第二部：協議

◆学校経営計画について（准校長より説明）

- ・配慮の必要な生徒や中学校のときに学校に行けていなかった生徒たちに、丁寧に対応するために支援教育CO、SSW、SCと連携し、情報を共有して対応できる体制づくり。
- ・校内研修や教育相談、人権教育の研修に積極的に参加し知識の向上を図る。
 - ①ICT機器の活用と更なる授業改善
 - ②わかる授業・充実した授業の実践
 - ③キャリアパスポートを活用した生徒に応じた進路決定を目指す

◆本校の状況と課題（教務部・生徒部より説明）

【教務部】昨年度の取組、生徒数の推移、教務概要、出席率の推移など

【生徒部】生徒指導、特別活動、部活動、教育相談、進路状況など

◇委員からの意見

- ・1人1台のタブレットが入ってくる中で、定時制高校の多様な生徒たちにとって、効果的なICT活用があれば進めてもらいたい。

◇学校事務局の回答

- ・新型コロナ対策を期に生徒、保護者の登録メールに対して、学校から情報を発信できるようになった。
- ・双方向でのやり取りが可能になる「Google Classroom」のアプリ活用も検討している。運用できればアンケート等もオンラインで進めていける。
- ・スマートホンが普及し授業において積極的にICTを活用していく中、授業前にマナーモード、電源オフといった授業中に鳴動しないよう指導も実施している。
- ・部活動において、運動系は全国大会中止。秋の近畿大会に向けて予定は進めている。

◆まとめ

- ICTの活用のためプロジェクトチームを立ち上げて、「Google Classroom」を使って生徒との双方向のやり取りをできるよう準備している。
- 生徒一人ひとりの学習の進度に応じて課題設定をして、生徒の達成感と自尊感情を高める取り組みを昨年度よりも多く盛り込んでいく。
- 生徒一人ひとりに応じて、丁寧にわかる授業を進めていき、生徒自身も授業を受ける姿勢をしっかりと維持できるよう引き続き授業改善に取り組んでいきたい。